

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成24年9月13日 (2012.9.13)

【公開番号】特開2010-74823(P2010-74823A)
 【公開日】平成22年4月2日 (2010.4.2)
 【年通号数】公開・登録公報2010-013
 【出願番号】特願2009-183742(P2009-183742)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 5/91 (2006.01)
 G 1 1 B 27/034 (2006.01)
 G 1 1 B 20/10 (2006.01)
 G 1 1 B 27/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/91 Z
 H 0 4 N 5/91 N
 G 1 1 B 27/034
 G 1 1 B 20/10 3 1 1
 G 1 1 B 27/00 D

【手続補正書】
 【提出日】平成24年7月27日 (2012.7.27)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

A V データに含まれるコンテンツと非コンテンツとの時系列上での切り替わりポイントを示す編集点情報を、前記 A V データとともに記録媒体に記録する録画編集装置であって、

前記 A V データの復号前の音声データは、復号された音声の音量に対応したパラメータを含んでおり、

前記復号前の音声データに含まれる前記パラメータに基づいて、前記コンテンツと前記非コンテンツとの前記切り替わりポイントを検出し、前記切り替わりポイントを示す前記編集点情報を生成する検出部と、

前記 A V データとともに前記編集点情報を前記記録媒体に記録する記録部と、
 を備え、

前記音声データが複数の音声チャンネルを有する場合、前記検出部は、前記複数の音声チャンネルのうちの 1 つの音声チャンネルの前記パラメータを用い、他の音声チャンネルの前記パラメータは用いずに、前記切り替わりポイントを検出する、録画編集装置。

【請求項 2】

前記検出部は、前記パラメータの値が閾値以下となる区間を前記切り替わりポイントの候補として記憶し、前記候補となった少なくとも 1 つの区間の中から前記切り替わりポイントを決定する、請求項 1 に記載の録画編集装置。

【請求項 3】

前記検出部は、前記パラメータの値の変化に応じて前記閾値を変更する、請求項 2 に記載の録画編集装置。

【請求項 4】

前記検出部は、前記候補となった区間同士の間隔に基づき、前記切り替わりポイントを決する、請求項 2 に記載の録画編集装置。

【請求項 5】

前記検出部は、人間の可聴域の一部の周波数帯域の音声の前記パラメータを用い、他の周波数帯域の音声の前記パラメータは用いずに、前記切り替わりポイントを検出する、請求項 1 に記載の録画編集装置。

【請求項 6】

前記パラメータは、MPEG (Moving Picture Experts Group) - 2 AAC (Advanced Audio Coding) に定義されている `global_gain` である、請求項 1 に記載の録画編集装置。

【請求項 7】

前記パラメータは、MPEG (Moving Picture Experts Group) - AUDIO に定義されている `scale_factor` である、請求項 1 に記載の録画編集装置。